

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020年 8月 6日作成 第2版

研究課題名	R-CHOP 療法で治療された限局期びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の臨床病理学的検討 YACHT ML1601-01 付随研究
研究の対象	2003年1月から2009年12月までに当院にて限局期びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫症例と初めて診断され、初回化学療法として R-CHOP 療法を 6-8 サイクル受けた患者さんのうち、診断時の生検組織のホルマリン固定パラフィ包埋材料が収集可能な症例を対象とします。当院においては 34 例が対象となります。
研究目的 ・方法	限局期びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の R-CHOP 療法後の長期予後に影響を与える臨床病理学的特徴を検討します。また、限局期びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対し、初回治療として R-CHOP 療法を行った症例の長期予後を解析し、予後に影響を与える臨床病理学的な特徴を検討します。 神奈川県立がんセンター血液・腫瘍内科 酒井リカ医師を研究代表者とする多施設共同後方視的研究となり、当院を含む参加施設から未染色標本を収集し、県立がんセンター病理部において免疫染色を含む組織染色を行います。また、MYC, BCL2, BCL6 等のプローブを用いた fluorescence in situ hybridization は東海大学医学部基盤診療学系病理診断学（〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋 143、中村直哉教授）にて行います。得られた病理学的情報と臨床情報から長期予後との関連を検討します。
研究期間	西暦 2017年 4月 27日 ~ 西暦 2022年 3月 31日
研究に用いる試料・情報の種類	主機関より送付されたスライドガラスに、匿名化された番号のみを表示した未染色標本を 1 例あたり 15 枚、および HE 標本 2 枚作成します。
外部への試料・情報の提供	研究対象者の氏名、イニシャルは本研究の調査項目に含まれないため、個人同定可能な情報はほとんどありません。記入済みの調査票やデータベースは、本研究にかかわる研究者以外がアクセスできないよう管理・保管につとめます。対応表は施設内で施設責任者が厳重に管理致します。
外部からの試料・情報の取得と保管	該当しません
研究組織	研究代表者：神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 酒井リカ 参加施設：横浜市立大学附属病院 血液・免疫・感染症内科学 他 計 4 施設

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

### 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 血液・リウマチ・感染症内科 （研究責任者）松本 憲二

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-786-3444

研究代表者：神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 酒井リカ